

中播磨（市川流域圏）
地域総合治水推進計画の主な取組み実績
（H25～R4年度）

令和6年6月24日

■主な取組内容



中播磨（市川流域圏）位置図

■河川下水道対策

- (1) 船場川調節池の整備 . . . 1
- (2) 八家川浸水対策プラン . . . 2
- (3) 市川河川改修 . . . 3
- (4) 市川潮止堰の改築 . . . 4
- (5) 大塩ポンプ場の整備 . . . 5
- (6) 汐入川才西川放水路幹線の整備 . . . 6
- (7) 川端雨水幹線の整備 . . . 7

■流域対策

- (1) 校庭貯留・公園地下貯留・駐車場貯留 . . . 8
- (2) ため池 . . . 9
- (3) 田んぼダム . . . 10
- (4) 雨水貯留タンク . . . 11
- (5) 森林の整備・保全 . . . 12
- (6) 既存ダムの治水活用 . . . 13

■減災対策

- (1) 想定最大規模のハザードマップの公表 . . . 14
- (2) ひょうご防災ネット活用 . . . 15
- (3) 浸水による被害の軽減に関する学習 . . . 16
- (4) 浸水による被害の軽減のための体制の整備 . . . 17
- (5) 建物等の耐水機能 . . . 18
- (6) 浸水による被害からの早期の生活の再建 . . . 19

河川下水道対策（河川対策）

（1）船場川調節池の整備

事業主体：兵庫県

事業期間：平成20年～平成30年

事業概要：調節池の整備 (V=約120,000m³)

目的：(普)増位川合流点で16m³/sの洪水調節を実施させる。



位置図



出典：船場川調節池パンフレット

洪水調節のイメージ

通常時



洪水時



平常時は、サッカー場（1面）やフットサルコート（3面）として利活用している。
平成16年10月の台風23号と同規模の洪水に対して、水位を80cm低下させる。

河川下水道対策（河川対策）

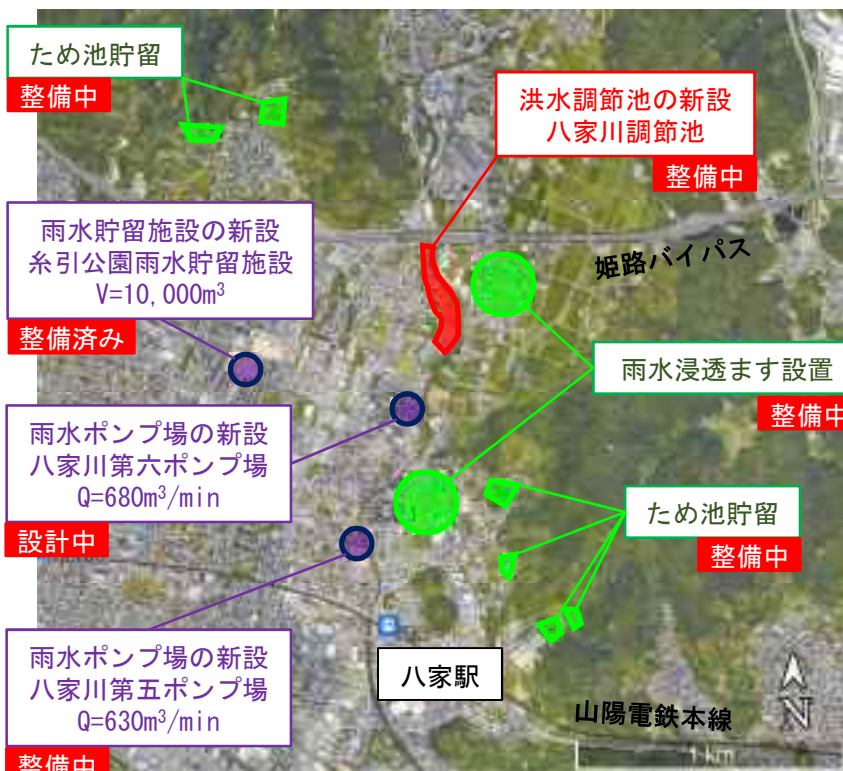
（2）八家川流域浸水対策プラン（100mm/h安心プラン）

事業主体：兵庫県、姫路市

事業期間：平成29年～令和8年（予定）

事業概要：洪水調節池、雨水貯留施設、雨水ポンプ場の整備、雨水浸透ますの整備、ため池貯留、内水ハザードマップの作成、民間と連携した情報発信等

目的：平成23年9月の台風12号による大雨と同程度の降雨に対して、床上及び床下浸水被害の低減及び浸水エリアの縮小を図る。



対策箇所図

○「100mm/h安心プラン」の概要

ゲリラ豪雨に対し、関係分野の行政機関が役割分担し、住民や民間企業等の参画のもと、浸水被害軽減を図るために実施する取組を定めた計画のことである。

○これまでの経緯

- ・平成23年9月：台風12号で多数の浸水被害が発生
- ・平成27年9月以降：兵庫県・姫路市・地元住民からなる「八家川流域浸水対策協議会」において対策を検討
- ・平成29年3月：国土交通省の「100mm/h安心プラン」事業に登録

河川下水道対策（河川対策）

（3）市川河川改修

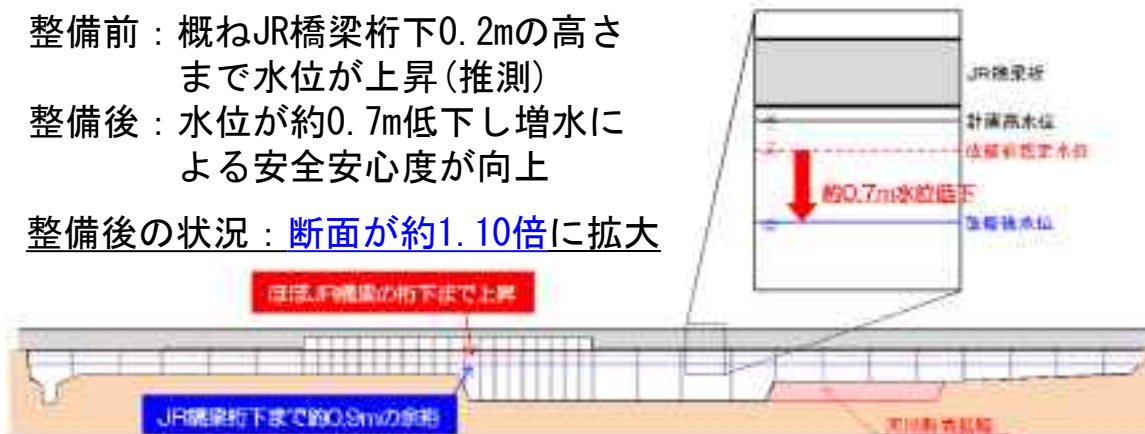
事業主体：兵庫県
事業期間：平成25年～令和10年（予定）
事業概要：河床掘削、築堤、堤防強化、護岸、JR橋梁基礎補強他（L=4,200m）
目的：当該工区の流下能力を向上させる。



位置図



整備前：概ねJR橋梁桁下0.2mの高さまで水位が上昇（推測）
整備後：水位が約0.7m低下し増水による安全安心度が向上
整備後の状況：断面が約1.10倍に拡大



事業効果

出典：総合治水の取組における効果検証について

河川下水道対策（河川対策）

（4）市川潮止堰の長寿命化工事

事業主体：兵庫県

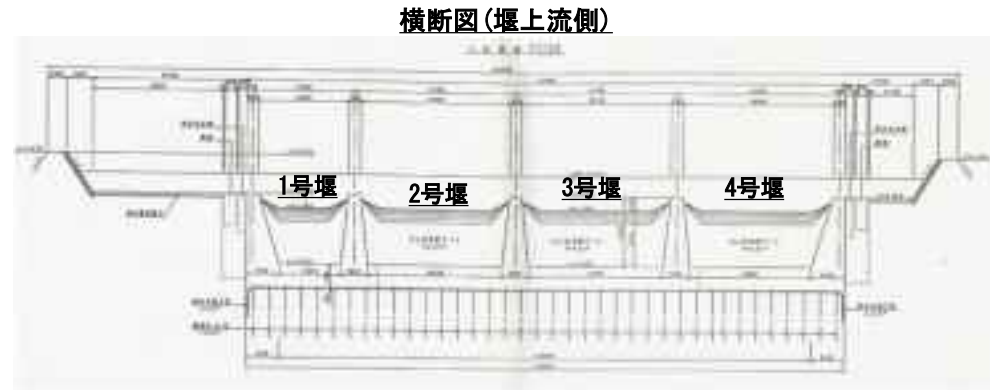
事業期間：令和3年～令和6年（予定）

事業概要：長寿命化工事

目的：継続的に運用するため、効率的かつ計画的な整備・更新とライフサイクルコストの縮減・平準化を図る。



位置図



下流部の河川改修の一環として、治水安全上の支障となる固定堰を撤去し、平成13年度に可動堰化が完了した。

可動堰化後、約20年が経過したことから、平常時および洪水時に確実に機能するように、1、2、3、4号堰を順次、更新している。



河川下水道対策（下水道対策）

（5）大塩ポンプ場の整備

事業主体：姫路市

事業期間：令和元年～令和7年（予定）

事業概要：ポンプ設備の増設（ポンプ量約2.2m³/s）

目的：49.5mm/hrの降雨に対して浸水被害の軽減を図る。



位置図



完成イメージ



鉄筋組立状況



型枠組立状況

出典：おもしろタイムス第2号

河川下水道対策（下水道対策）

（6）汐入川才西川放水路幹線の整備

事業主体：姫路市
事業期間：令和2年～令和6年（予定）
事業概要：放水路幹線（雨水管）の設置（L=2,400m）
目的：49.5mm/hrの降雨に対して浸水被害の軽減を図る。



位置図



放水路内の様子 出典：ひめしおタイムス第9号



出典：汐入川才西川放水路幹線工事概要

河川下水道対策（下水道対策）

（7）川端雨水幹線の整備

事業主体：福崎町

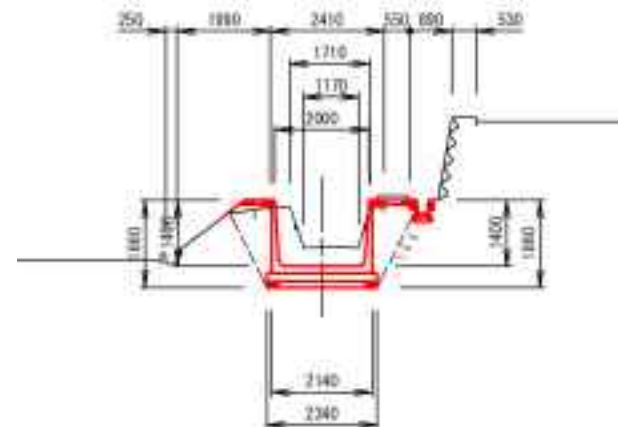
事業期間：平成25年～平成30年

事業概要：雨水幹線の増設(L=700m)

目的：46mm/hrの降雨に対して浸水被害を解消する。



位置図



施設横断面図



現地の様子

既設水路下流部では、約 $2.7\text{m}^3/\text{s}$ の流下能力があったが、雨水幹線整備により、 $4.6\text{m}^3/\text{s}$ の流下能力が確保された。→約1.7倍向上

流域対策

(1) 校庭貯留・公園地下貯留・駐車場貯留

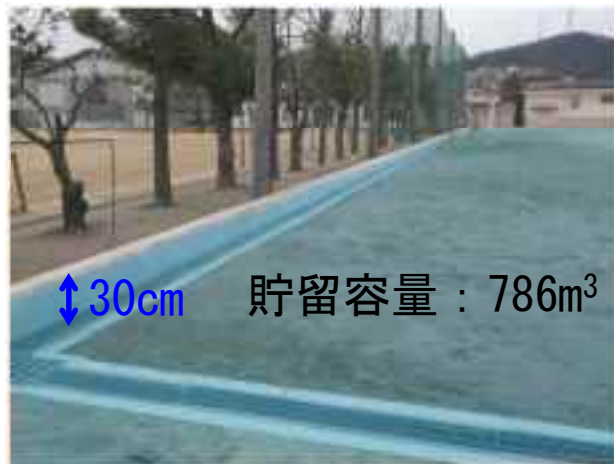
学校等の公共施設や県営住宅の駐車場に、当該敷地内への降雨を一時的に貯留あるいは浸透させることにより、流出を抑制し、下流河川に対する洪水負担を軽減させる。

表1 令和4年までの事業目標と実施状況

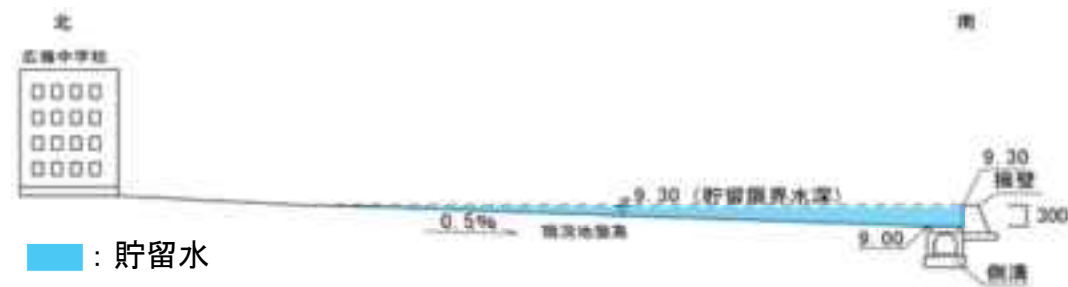
校庭貯留		公園地下貯留		駐車場貯留	
目標	実績	目標	実績	目標	実績
2箇所	2箇所	4箇所	4箇所	V=390m ³	V=390m ³



姫路御国野・御着住宅の貯留イメージ



姫路市立広嶺中学校の貯留イメージ



貯留施設横断面図

出典：流域貯留浸透事業姫路市立広嶺中学校流域貯留施設 に加筆

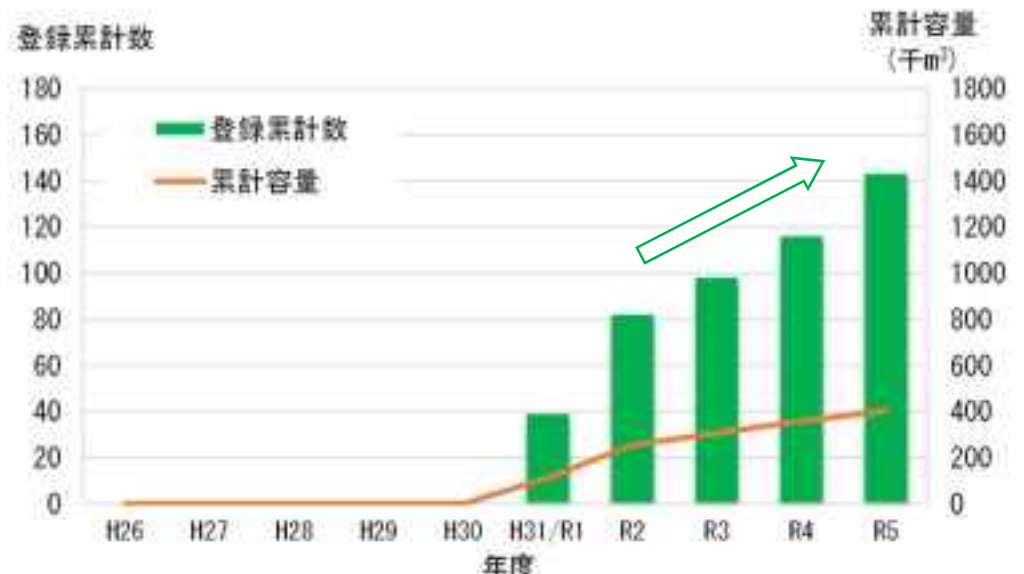
流域対策

(2) ため池貯留

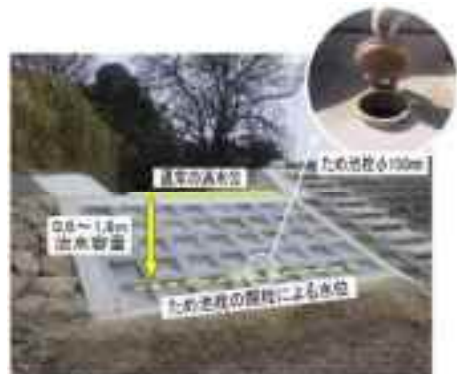
兵庫県では、農業用水の安定的な供給および災害の未然防止を図るとともに、ため池等が有する多面的機能の発揮の促進に必要な事項について定めた「ため池の保全等に関する条例」が平成27年3月に制定された。

表2 令和4年までの事業目標と実施状況

整備内容	目標	実績
ため池改修に合わせた事前放流設備の整備	26箇所	35箇所
洪水調節機能のある洪水吐の整備等	24箇所	18箇所
廃止ため池の治水活用(イマ谷池)	1箇所	1箇所
総合公園内のため池への雨水貯留機能付加	1箇所	1箇所



条例に指定されているため池数と容量の累計



事前放流設備 (ため池柱)



洪水吐の整備

流域対策

(3) 田んぼダム

通常のセキ板に切り欠きを設けた「田んぼダムセキ板」を一枚追加して設置することにより、洪水時に水を貯め、切り欠きから徐々に排水する簡易的な洪水調整システム。

表3 令和4年までの事業目標と実施状況

目標	実績
243.7ha	748.7ha



セキ板設置の様子（福崎町）



流域対策

(4) 雨水貯留タンク

浸水被害の軽減対策として雨水貯留タンクの設置協力を呼びかけるため、各市町では購入費用や設置費用の一部を助成している。



中播磨県民センター



太子町役場

表4 令和4年までの事業目標と実施状況

目標	実績
835件	496件

雨水貯留タンクとは？ Check!

屋根に降った雨を一時的に貯めて、水荒などにより一度に流れ込む量を減らすとともに、貯めた雨水を様々な用途に活用できます。

雨水貯留タンク購入費の半額(最大3万円)を市が助成！

貯めた雨はいろいろな使い道に活用！

- 用途1: 夏の給水の水やり**
水費や水道料、カーポートの掃除に、お風呂と使い分けたり、庭を水遣りしたり、夏の間は水遣りも楽になります。
- 用途2: 暑い日の打ち水**
気温を下げ、涼しく、虫除け効果も期待できます。
- 用途3: 災害時の備用水**
雨水貯留タンクは立派な防災グッズです。主電源が止まっても、水が確保できると、100%安心できる防災グッズになります。

ぜひ裏面もご覧ください！

助成チラシ (高砂市)

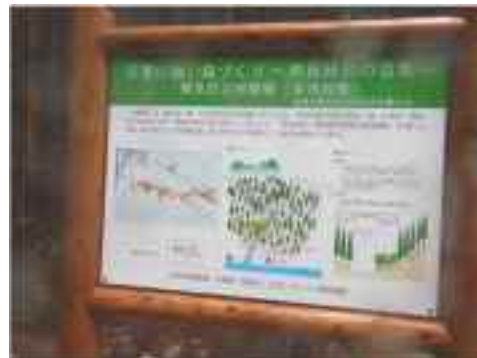
■流域対策

(5) 森林の整備・保全

兵庫県では、豊かな「緑」を次の世代に引き継いでいくため、県民共通の財産である「緑」の保全・再生を社会全体で支え、県民総参加で取り組む仕組みとして平成18年度から「県民緑税」を導入し、「災害に強い森づくり」を推進している。

表5 令和4年までの事業目標と実施状況

目標	実績
8,655ha	9,867ha



緊急防災林整備周知看板 (姫路市)



簡易防災施設 (姫路市)



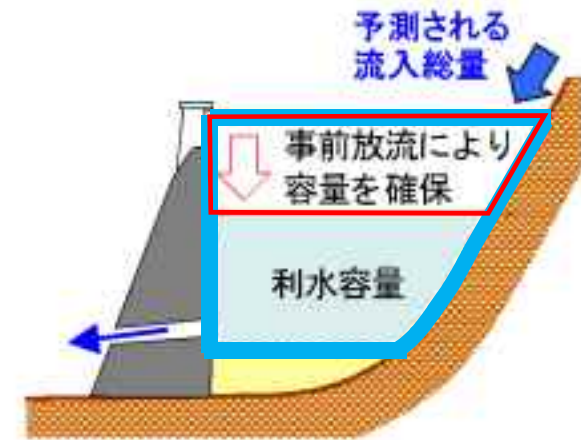
県民緑税 (兵庫県)

流域対策

(6) 既存ダムの治水活用

既存ダムの利水容量を対象に、浸水被害の防止・軽減を目的とする事前放流の実施に向けて、関係者間（河川管理者、ダム管理者、ダム利水者）で二級河川市川水系治水協定(案)を締結（R2.8.31）。

この事前放流により、洪水が予測される場合に利水容量の一部を事前放流し洪水を一時的に貯留する容量を確保することができる。



出典：事前放流ガイドライン に加筆

表6 中播磨地域の利水ダム一覧

水系	ダム名	洪水調節可能容量※1 (万m ³)	管理者
市川	黒川ダム	1,510 (多々良木ダムとの合計)	関西電力(株)
	太田ダム	826 (2ダムの合計)	関西電力(株)
	長谷ダム		関西電力(株)
	神谷ダム	137	兵庫県企業庁
	生野ダム※2	241.8	兵庫県土木部

※1：既存ダムの洪水調節容量及び利水容量のうち、洪水調節に利用可能な容量のこと。
生野ダムは、事前放流容量を記載。

※2：生野ダムは平成25年6月から運用が開始されており、令和2年4月に締結済み。

出典：既存ダムの洪水調節機能強化に向けた協議の場協議資料 より作成



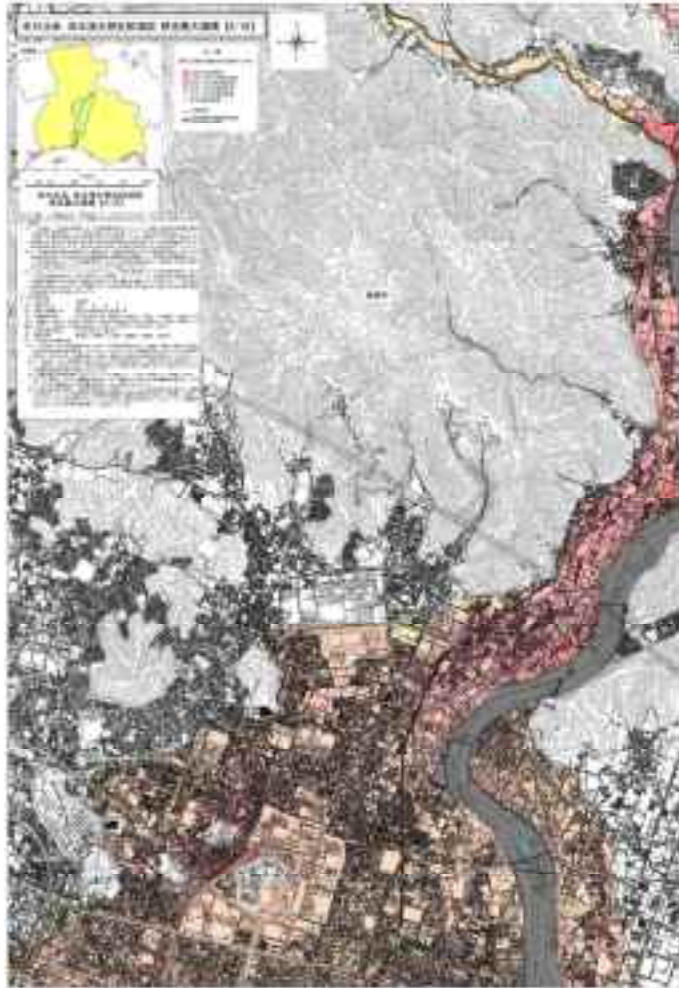
生野ダム

出典：「ひょうごのダム」パンフレット2

■ 減災対策

(1) 想定最大規模のハザードマップ等の公表

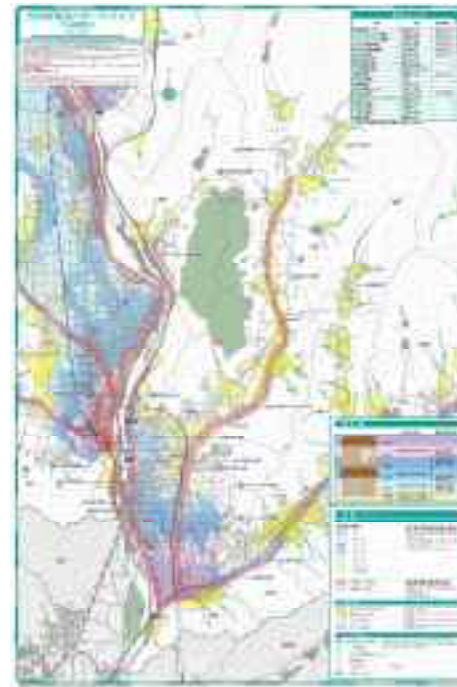
兵庫県では想定最大規模の降雨に係る洪水浸水想定区域図を、市町ではハザードマップを作成・公表している。



市川水系洪水浸水想定区域図

表7 令和4年までの事業目標と実施状況(ハザードマップ)

目標	実績
76地区	76地区



市川町防災ハザードマップ
(市川町) 出典：市川町HP



内水ハザードマップ(姫路市)
出典：姫路市HP

■ 減災対策

(2) ひょうご防災ネットの活用

既存の情報伝達手段に加えて、県民に直接緊急情報や避難情報等を発信する「ひょうご防災ネット」を作成。アプリ配信も実施しており、県民に登録を呼びかけている。



「ひょうご防災ネット」スマートフォン用アプリ配信情報
出典：兵庫県HP

出典：兵庫県HP

■ 減災対策

(3) 浸水による被害の軽減に関する学習

自主防災組織の結成推進および活性化させるため、防災講座を実施。各市町では出前講座を開催し、地域住民の防災意識向上を図っている。

表8 令和4年の目標回数と実施状況
(対象市町合計)

目標	実績
97回/年	73回/年



防災講座の様子 (姫路市)

出典：姫路市HP



防災講座の様子 (高砂市)

出典：高砂市HP



出前講座の様子 (太子町)

■ 減災対策

(4) 浸水による被害の軽減のための体制の整備

浸水被害軽減のため、防災訓練等住民を巻き込んだ体制の整備を市町毎に行っている。



消防団水防訓練の実施（福崎町）



救助等に使用する防災資機材を設置（姫路市）

出典：姫路市HP



避難所表示板（朝来市）

表9 対象期間中の防災訓練の
目標実施回数と実施状況

目標	実績
19回/9年	14回/9年

※新型コロナ期間中は実施せず



防災訓練の実施（姫路市）

出典：2021年度自主防災訓練などの実施状況



防災訓練の実施（太子町）

■ 減災対策

(5) 建物等の耐水機能の強化

防災拠点となる公共施設では、浸水被害を軽減するため電気設備等の高所設置等に取り組んでいる。

建物等の高床化



電気設備等の高所設置



遮水壁・板の設置



表10 令和4年までの
事業目標と実施状況

目標	実績
3箇所	3箇所

耐水機能の主な例

出典：高砂市総合治水推進計画～水害に強いまちづくりを目指して～



市役所新庁舎を盛土嵩上げ
(高砂市)



非常用発電設備を庁舎屋上に設置
(太子町)



電気設備を庁舎屋上へ設置
(市川町)

■ 減災対策

(6) 浸水による被害からの早期の生活の再建

フェニックス共済などへの加入促進を図っている。

「安心」をカタチに
広島県住宅再建共済制度
フェニックス共済
 自然災害から守りたい「住まい」と「暮らし」

今後、もしも!!
 崩壊トラフ地割が発生したら
 ※30年以内の築し建物 最大30%!
 ※20年以内の築し建物 最大20%!
 活断層地割が発生したら
 ※最新で最新の「山崎新報社」「上野新聞社」など
 大型台風が直撃したら
 豪雨による災害が発生したら

広島県が実施する制度だから、小さな負担で安心・安全!

住宅再建共済
 ●毎月の保険料は1万円未満、分償マシメ、災害性免状も
 所有されている方が多いと、おたふでも加入できます。
 ●お持ちの保険料一括払いも
 お選びいただけます。
 詳しくは下記へ
 お問い合わせください!

住宅の標準耐震1.25倍以上の被害下
 ◎建築・購入した場合 ▶ **最大600万円**給付!
 ◎補修した場合 ▶ **最大200万円**給付!

お問い合わせ
 公益財団法人 広島県住宅再建共済基金
 TEL 078-371-1000 (FAX 078-371-0000)
 〒730-0855 広島市東区南大蔵1-1-1
 加入申込書はダウンロードできます。

「加入申込書付付パンフレット」は、県庁・
 消防署・建設センター・作業所・町会等、
 取扱所：各自治体等に配布しています。
 ※クレジットカードでの申し込みは、
 オンライン決済での申し込みが原則です。

表11 フェニックス共済への加入状況

市町	H26	R4
朝来市	13.4%	12.3%
神河町	23.6%	26.1%
市川町	21.3%	19.9%
福崎町	14.1%	15.6%
姫路市	8.8%	8.6%
高砂市	13.7%	18.9%
太子町	14.9%	16.1%

市町別単純平均 15.7% → 16.8%